

大泉町立図書館ビジョン(素案)

令和2年11月
大泉町教育委員会

目 次

第1章 ビジョンの策定にあたって.....	1
1 ビジョン策定の背景と目的.....	1
2 ビジョンの位置づけ.....	2
3 ビジョンの期間.....	2
第2章 町立図書館に対する利用者の意識.....	3
第3章 町立図書館の現状と課題.....	7
1 図書館施設.....	7
2 図書資料の収集と蔵書状況.....	8
3 利用・貸出状況.....	9
4 レファレンスサービス.....	9
5 あらゆる世代に向けたサービス.....	10
6 高齢者・障害者・外国語を母語とする人へのサービス.....	11
7 ボランティア団体等の育成・活性化.....	12
8 広報活動.....	12
9 高度情報化への対応.....	13
第4章 基本的な考え方.....	14
1 町立図書館の将来像.....	14
2 基本目標.....	15
第5章 施策の内容及び指標.....	16
基本目標（1）将来を見据えた資料の収集と保存を行う図書館.....	16
基本目標（2）環境を整備し進化する図書館.....	17
基本目標（3）誰もが利用しやすい図書館.....	18
基本目標（4）未来を担う子どもの読書を支援する図書館.....	19
基本目標（5）人と人との出会いを広げる図書館.....	20
基本目標（6）町民の相互理解を支える図書館.....	21
第6章 ビジョンの推進.....	22
1 取組方針.....	22
2 進捗管理と点検・評価.....	22
参考資料.....	23
1 令和元年度貸出人数・貸出点数及び分類別貸出点数.....	23
2 年度別・分類別蔵書点数.....	24
3 年度別入館者数等.....	26

第1章 ビジョンの策定にあたって

1 ビジョン策定の背景と目的

近年、社会の情勢や構造が大きく変化する中で、図書館の利用者のニーズはより多様化・高度化しています。

今日の生涯学習社会における図書館の役割は、利用者一人ひとりに豊かな人生を過ごしてもらうために、読書主体の場にとどまらず、教養を深め、新しい情報に触れることのできる場としての役割が求められております。

このため、図書館は、常に新しい情報の収集、発信を行い、利用者のニーズに応えていく必要があります。

町民の「学び」の場であり、生涯学習の拠点でもある大泉町立図書館（以下「町立図書館」という。）は、平成元年度に建て替え、現在の町立図書館となってから30年以上が経過しました。

これまでに町立図書館は、利用者のニーズに応え、開館時間の見直し、視聴覚資料の導入、貸出点数の拡大、ブックスタート事業*1の開始など、町民サービスや利用者の満足度の向上に取り組んでまいりました。

今後は、町民が新たな知識や情報を得る場としての役割だけでなく、さらに町民の活動の場、町民同士の交流の場としての役割も担っていく必要があります。

国は、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成24年文部科学省告示第172号）」*2において、市区町村立図書館は、その設置目的を踏まえ、社会の変化や地域の実情に応じ、当該図書館の事業の実施等に関する基本的運営の方針を策定し、公表するよう努めるものとしております。

大泉町立図書館ビジョン（以下「本ビジョン」という。）は、このような情勢の中で、大泉町が目指す町立図書館のあり方を明確にし、町立図書館が持っている機能を充実させ、さらなる町民サービスや利用者の満足度の向上を目指し、図書館施策の基本方針として策定いたしました。

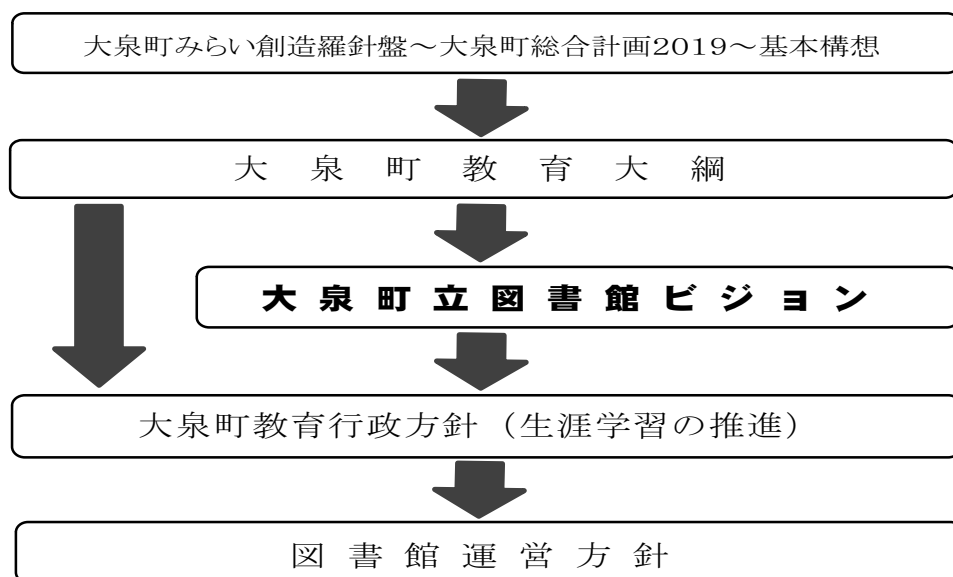
*1『ブックスタート事業』1992年にイギリスで始まり、赤ちゃんと保護者に絵本を開く楽しい時間と心触れ合うひとときを持つきっかけをつくるため、自治体の乳児検診等の時に実施する活動。

*2『図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成24年文部科学省告示第172号）』図書館法で図書館に対し求めていることの実現を図るため、国がその責任において目標となる基準を示すもの。

2 ビジョンの位置づけ

本ビジョンは「大泉町みらい創造羅針盤～大泉町総合計画2019～」基本構想、及び大泉町教育大綱を上位計画とし、「大泉町みらい創造羅針盤～大泉町総合計画2019～」の基本構想における生涯学習の「夢とやさしさをもって、生き生きと学ぶまち」を実現するための、図書館施策の基本方針を示すものです。

本ビジョンに基づく施策・事業については、図書館運営方針にて示します。



3 ビジョンの期間

本ビジョンの期間は5年間とし、令和3年度から令和7年度とします。
また、状況の変化により、必要に応じ見直します。

各種計画	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
大泉町みらい創造羅針盤 ～大泉町総合計画2019～基本構想	計画期間は無期				
大泉町教育大綱	3年間	4年間(予定)			
大泉町立図書館ビジョン	5年間				
大泉町教育行政方針 (生涯学習の推進)	1年間	1年間	1年間	1年間	1年間
図書館運営方針	1年間	1年間	1年間	1年間	1年間

第2章 町立図書館に対する利用者の意識

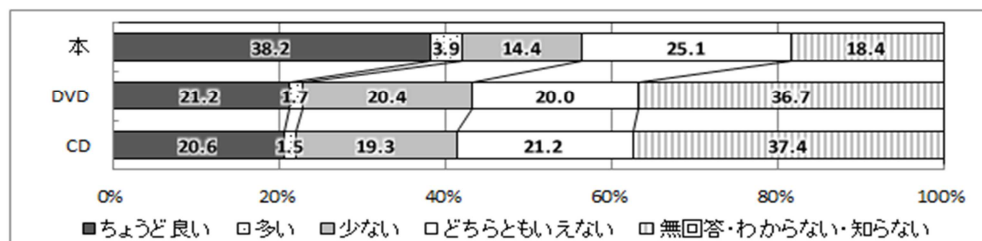
図書館サービスに対する意識を把握するため、町立図書館利用者を対象として、平成28年6月に利用者アンケート調査を実施しました。

内容としては、図書館利用状況に関する調査に加え、施設の運営方法や利用環境、図書資料の保有状況等に対する満足度のほか、利用に際しての要望事項等とし、窓口にて571人に調査票を配布したところ、466人から回答を得ることができました。

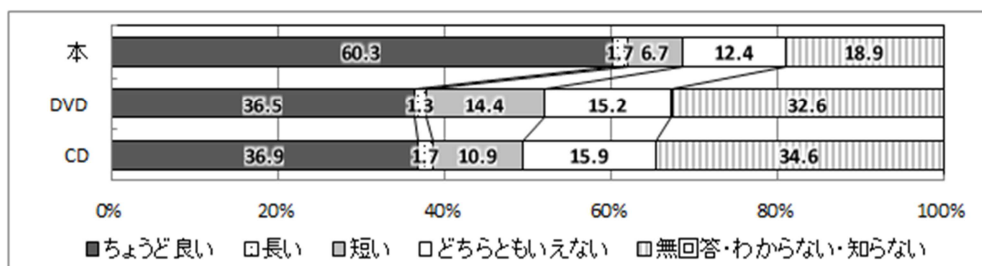
その結果として、まず、『開館・閉館時間』及び『休館日』に関しては、「現状のままで良い」という回答の割合が高く、概ねニーズに合わせた運営ができていると考えます。

次に、保有資料に関する意識として、本とDVDについては、『種類（数）』、『貸出期間』、『貸出点数』ともに「ちょうど良い」という回答が最も高かった中で、『CDの種類（数）』については、「どちらともいえない」が「ちょうど良い」を上回りました（図1-1、図1-2、図1-3）。

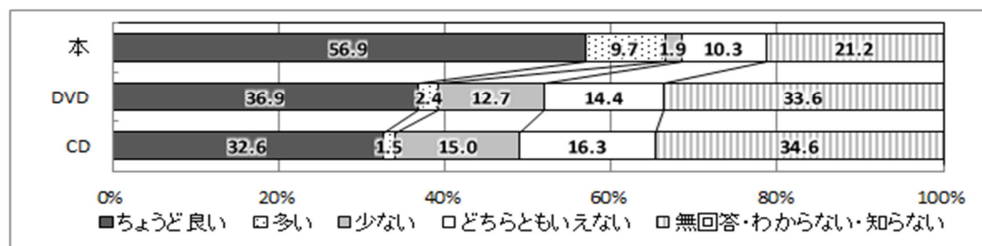
（図1-1）種類（数）について（※本の蔵書数は139,851点、DVDの蔵書数は1,911点、CDその他の蔵書点数は4,631点（平成27年度））



（図1-2）貸出期間について（※本は15日間、DVD・CDは8日間）

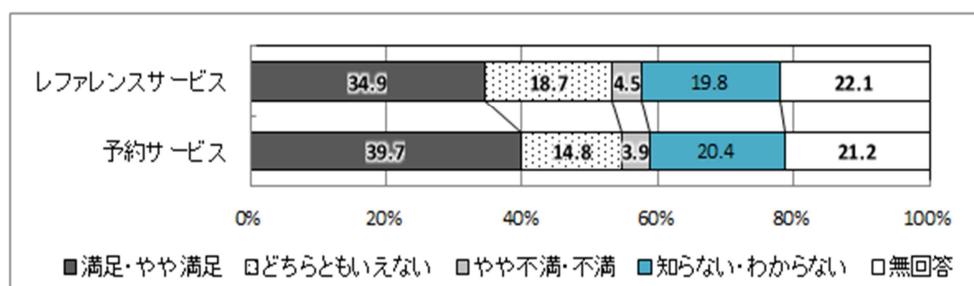


（図1-3）貸出点数について（※本は10点まで、DVD・CDはそれぞれ2点まで）



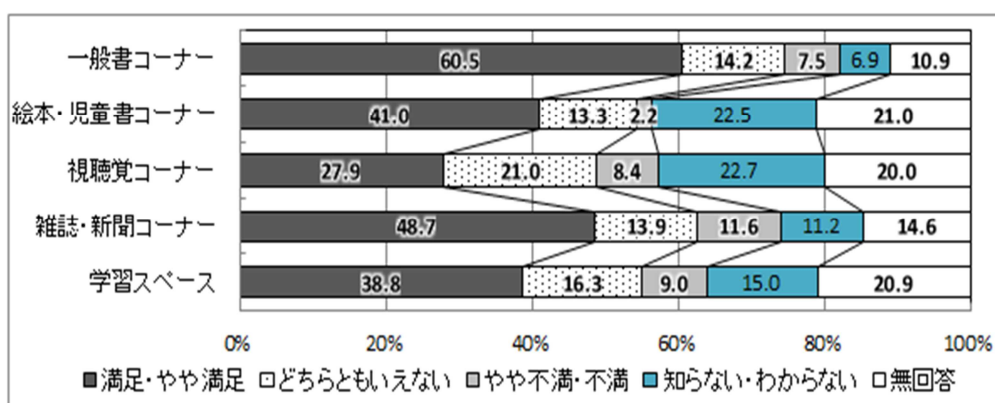
利用者が活用するサービスである『レファレンスサービス』*₃や『予約サービス』に関しては、「満足・やや満足」の割合が高い一方で、それ自体を「知らない・わからない」という回答が多く見られました（図2）。

（図2）サービスについて



各コーナーへの意識としては、『一般書コーナー』については、「満足・やや満足」が60.5%と最も高く、次いで『雑誌・新聞コーナー』が48.7%、『絵本・児童書コーナー』が41.0%、『学習スペース』が38.8%と続き、『視聴覚コーナー』が27.9%と最も満足度が低い状況でした（図3）。

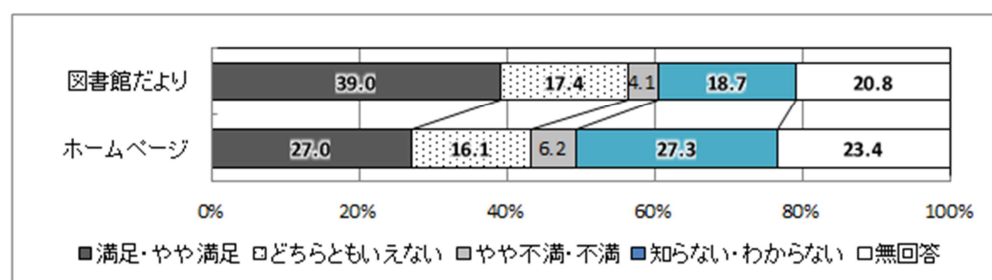
（図3）各コーナーについて



*₃『レファレンスサービス』利用者が調べたいことや探している資料などの質問に対し、必要な資料、情報を案内するサービス。

町立図書館の情報発信の手段に関しては、『図書館だより』については「満足・やや満足」が39.0%であったのに対し、『ホームページ』に対しては27.0%と低く、「知らない・わからない」の27.3%を下回りました(図4)。

(図4) 情報発信について



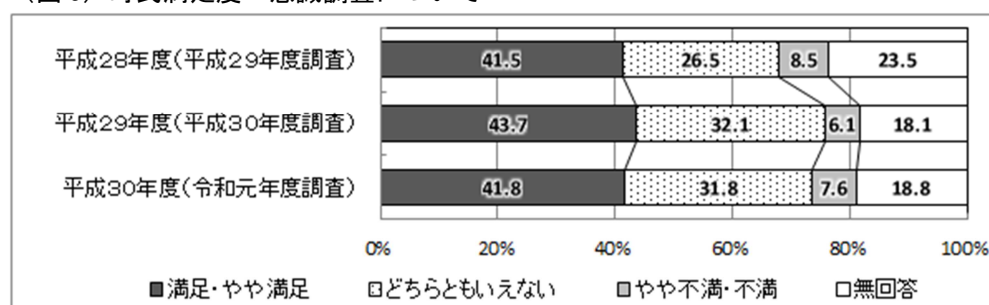
町立図書館に対する要望として、優先的に行って欲しいサービスに関しては、図書資料（雑誌・新聞を含む）や視聴覚資料（DVD・CD）の充実に関する意見が最も多く、他には、施設や設備の充実をはじめ、以下のような結果でした。

■要望について（5つまで回答可）

内容	回答数
図書資料（雑誌・新聞を含む）の充実	249
視聴覚資料（DVD・CD）の充実	123
施設・設備の充実	111
開館日・開館時間の拡大	106
館内インターネット環境の整備	69
各種講座等の催しものの開催	67
高齢者向けサービス	57
図書館からの情報提供	48
中学生・高校生向けサービス	45
レファレンスサービス（資料の検索・調べものの相談）	35
多文化サービス（洋書の充実・外国語による情報発信）	35
乳児・未就学児・小学生向けサービス	32
障害のある人へのサービス	17

また、町では町民満足度・意識調査を毎年度実施しており、その中に、町立図書館全体に対する満足度を把握するための「図書館が充実している」という項目がありますが、平成28年度の取り組みに対する調査結果では、「満足・やや満足」と回答した人の割合は41.5%でした（図5）。

（図5）町民満足度・意識調査について



以上のことを踏まえ、利用者の満足度向上に努めてまいりましたが、以降の町民満足度・意識調査の結果は、平成29年度が43.7%、平成30年度が41.8%と推移しており、取り組みが十分とはいえない状況です。

第3章 町立図書館の現状と課題

1 図書館施設

○現状

現在の建物は、既に30年以上が経過しており、老朽化が原因と思われる外壁の傷みや雨漏りが目立つようになりました。

また、蛍光灯や水銀灯の照明器具の交換などが必要となっております。

その間、平成2年度には蔵書の管理などを行う図書館管理システム*4の導入（以後5年ごとに更新）、平成11年度には1階ラウンジ部分のレイアウト変更、平成16年度には資料コピー用のカラーコピー機の導入、平成25年度には授乳室、ベビーチェアー、ベビーシートを設置、平成19年度と平成30年度のエアコン修繕をはじめとして、多くの修繕等を実施し、利用者の利便性の向上を図ってきました。

○課題

町立図書館は、誰もが安全、安心に利用できるよう、施設や設備の整備、改修を行う必要があり、レイアウトについても、読書、勉強、サークル活動等利用者のそれぞれの来館目的に合わせて利用しやすい空間づくりを進める必要があります。

また、施設の管理運営については、町立図書館に期待されている役割やサービスにふさわしい方法を調査研究する必要があります。

*4『図書館管理システム』図書館が所蔵する資料の目録を電子化して、データベースとして構築したもので、インターネットを通じ蔵書の検索や、本の貸出・返却及び予約の管理などを行うシステム。

2 図書資料の収集と蔵書状況

○現状

平成元年度に58,764点だった蔵書は、平成21年度にピークを迎え149,674点となり、令和元年度にはピーク時の約93%の139,687点となっています。

そのうち歴史や文化に関する郷土資料については9,717点（令和2年3月31日現在）、DVD・CDなどの視聴覚資料については、6,984点（令和2年3月31日現在）の蔵書があります。

しかし、現在の蔵書点数でも、書架に対して書籍の数が多く、全ての書籍が返却された場合には、書架に収まりきらない状況となっております。

なお、利用者アンケート調査では、一般書コーナー、絵本・児童書コーナー、雑誌・新聞コーナーについて、それぞれ一定の満足を得ていますが、一方で、優先的に行って欲しいサービスにおいて、図書資料（雑誌・新聞を含む）の充実を望む声が多くありました。

○課題

図書資料及び視聴覚資料については、資料のバランスを考慮しつつ、図書館資料リクエスト等も参考にしながら収集し、町民が求める資料の充実を図るとともに、視聴覚資料については資料点数の増加を図る必要があります。

また、郷土資料については、郷土の歴史を研究する上で非常に重要であるため、引き続き収集を進めるとともに、保存と利用の両立が可能となるデジタル化の調査研究を行い、社会情勢の変化への対応や、災害などの緊急時に休館となることを想定して、開館時間にとらわれず利用が可能となる電子書籍等の新しい形態の資料収集、提供について調査研究を行う必要があります。

そのほか、利用者のニーズの多様化・高度化により、図書資料の全てを町立図書館で収集・提供することは難しいため、県立図書館や、県内の公立図書館等との協力のもと、相互貸借*5を活用できる体制の維持・推進に努める必要があります。

*5『相互貸借』他の図書館の所蔵資料を互いに貸借し活用するサービスで、単館での資料の不足を補い、利用者に対するサービスの向上を図るもの。

3 利用・貸出状況

○現状

利用については入館者数を見てみると、単年度で集計できるようになった平成5年度は103,930人で、平成17年度にピークを迎え215,411人となり、令和元年度はピーク時の約57%の123,730人となっています。

次に、貸出状況については貸出点数を見てみると、平成2年度は134,333点で、平成15年度にピークを迎え300,048点となり、令和元年度はピーク時の約61%の182,026点となっています。

全国的に活字離れ、読書離れといわれていますが、町立図書館の入館者数、貸出点数の減少については、その傾向を表していると考えられます。

○課題

図書資料の充実を図るとともに、町立図書館に来てもらえるよう新着本や話題の本等の情報、各種講座やイベントの開催等の情報を、町民に広く伝えるように情報発信を充実させ、町民が利用しやすい図書館づくりを進め入館者数、貸出点数の拡大に努める必要があります。

4 レファレンスサービス

○現状

レファレンスとは、利用者からの相談や問い合わせに対応して調査、提案する図書館サービスで、利用者と資料を結びつける重要な図書館業務の一つです。

今日の社会では、情報は紙媒体やインターネット等を通じて常時かつ大量に発信されており、図書館には利用者が求めている資料を的確に探し出し回答することが求められています。

令和元年度におけるレファレンスサービスは、簡単なものから高度なものまで幅広く2,341件の利用がありました。

○課題

利用者の高度で幅広い学習や調査、研究に的確に応えるレファレンスサービスを実現するためには、多種多様で豊富な知識と情報が必要なことから、研修会や講習会等を積極的に活用して職員の知識・能力の向上を図り、利用者からの相談に的確に対応できる体制づくりを進める必要があります。

5 あらゆる世代に向けたサービス

○現状

乳児に向けては、平成14年度から7か月児健診時の乳児とその保護者を対象に、本の楽しさや本を介して親子の触れ合う時間の大切さを伝えるとともに、図書館利用を始めるきっかけとしてもらえるよう、ボランティアの協力を得ながら読み聞かせと絵本のプレゼントをするブックスタート事業を実施してきました。それをきっかけに図書館利用を始める人もいることから、町立図書館の利用促進に一定の成果が得られていると考えます。

未就学児・小学生に向けては、子どもの読書活動推進事業として、読み聞かせやお楽しみ会、映画の上映会を実施し町立図書館の利用促進に努めており、一定の成果が得られていると考えます。

中学生・高校生については、勉強や部活動などで忙しくなり、さらにインターネットやSNS^{*6}の利用が増え読書から遠ざかり、小学生に比べ貸出人数、貸出点数ともに利用が少なくなっていることから、中学生・高校生に向けたヤングアダルト^{*7}の資料の収集を行っておりますが、図書の貸出の利用促進に十分効果を発揮しているとはいえません。

一般の人については、町立図書館を頻繁に利用する人がいる一方で、町立図書館の利用に関心を持たない人も多くいます。

図書館ホームページ等で、新着本や話題の本等の情報発信を行うほか、町立図書館を会場とする各種講座の開催などにより、町立図書館への関心を高めてもらえるよう取り組んでいます。一般の人の利用者拡大に十分効果を発揮しているとはいえません。

○課題

乳児に向けては、今後も乳児とその保護者が本に触れ合う機会の提供、未就学児から高校生に向けては、それぞれの年齢に応じた本との出会いを支援し、子どもたちと本を結びつけるきっかけづくりとなるような施策の実施、一般の人に向けては、町立図書館に興味を持ってもらえる情報発信や幅広いニーズに対応した各種講座等の事業の実施に、それぞれ取り組み、様々な年代のニーズに対応した、魅力ある図書館づくりに取り組む必要があります。

そのほか、小中学校との連携を強化する必要があります。

^{*6}『SNS』ソーシャルネットワーキングサービスのことで、インターネットのネットワークを通じて、人と人をつなぎコミュニケーションが図れるように設計された登録制サービス。

^{*7}『ヤングアダルト』中学生や高校生などのいわゆるティーンの年代に向けた図書で、児童書と一般書の分類の中間に位置するもの。

6 高齢者・障害者・外国語を母語とする人へのサービス

○現状

町立図書館では、高齢者や弱視の人でも読みやすい大活字本^{*8}を、蔵書全体の約1%に当たる1,372点(令和2年3月31日現在)所蔵しております。

また、一人で町立図書館に来られない高齢者、障害者等に向けては、宅配サービスを実施しており、令和元年度の利用点数は145点となっております。

外国語を母語^{*9}とする人へのサービスについては、平成12年度にポルトガル語を中心とした国際ライブラリーコーナーを開設し、平成14年度に3カ国語(日本語・英語・ポルトガル語)が併記された「図書館利用案内」を作成しました。

また、図書館ホームページについてはポルトガル語表記で一部対応しています。

本町の総人口に占める外国人人口は約19%(令和2年3月31日現在)ですが、蔵書全体に占める洋書の割合は約2%に当たる2,964点(令和2年3月31日現在)を所蔵しております。

○課題

全ての町民がサービスを公平に受けられるよう、今後利用が増えると予想される高齢者や障害者等への宅配サービス^{*10}の充実、大活字本や点字資料等の収集・提供や、外国語を母語とする人たちへ洋書の収集や情報発信等を含めたサービスの拡充を図り、誰もが快適に利用できる図書館づくりを推進する必要があります。

また、日本人と外国語を母語とする人たちとの相互理解を深めることが大切であるため、相互理解に役立つ事業の開催や、多文化共生に関する資料の充実を図る必要があります。

^{*8}『大活字本』弱視者(低視力者、高齢者など)にも読みやすいように、文字の大きさや行間を調整し、大きな活字で組み直した本。

^{*9}『母語』人が幼児期に周囲の人たちが話すのを聞いて自然に習い覚えた最初の言語。

^{*10}『宅配サービス』高齢者や障害者、妊産婦など図書館に来館できない人に資料を自宅や入所施設に届けるサービス。

7 ボランティア団体等の育成・活性化

○現状

現在、ボランティア団体には、保健福祉総合センターで行われる7か月児健診時の絵本の読み聞かせ、町立図書館2階の絵本コーナーにおける読み聞かせ、子どもお楽しみ会の講師などをしていただいております。

そのほか、多くのボランティア団体が町立図書館を会場に活動しております。

また、読書会や研究グループが定期的に町立図書館を利用しております。

さらに、町内小学生による社会科見学、町内中学生による職場体験、高校生による就業体験、大学生によるインターンシップの受入れなどを行っています。

○課題

町民の多様なボランティア活動は読書普及活動の充実にもつながることから、ボランティア団体等の育成と活性化を促進するとともに、読書会や研究グループの活動は会員の生涯学習の推進に役立っており、その活動の支援や育成を図る必要があります。

また、社会科見学、職場体験等を積極的に受入れ、図書館の役割などを理解してもらうとともに、町立図書館を身近に感じてもらい利用者拡大に結びつくよう努める必要があります。

8 広報活動

○現状

町立図書館では、「としょかんだより」や図書館ホームページ等で、新着本のお知らせや行事などの情報を適時掲載するとともに、館内・館外の掲示板を活用したポスターの掲示やチラシの配布などにより図書館の情報を発信し、来館を促しています。

○課題

町立図書館の蔵書資料の紹介や各種イベント情報など、最新の情報を適切に提供し、町立図書館は利用価値の高い施設であることを知ってもらうために、「としょかんだより」や図書館ホームページ等に加え、SNS等の新しい手法の活用について調査研究に取り組む必要があります。

また、外国語を母語とする人たちに対して、外国語による情報発信を検討する必要があります、その手法について調査研究に取り組む必要があります。

9 高度情報化への対応

○現状

町立図書館の蔵書について、図書館管理システムにより図書館ホームページ上で蔵書の検索や予約ができ、新着本や貸出ランキングが見られるよう整備してきました。

○課題

高度情報化社会の進展に合わせたサービスの提供が求められていることから、図書館ホームページや蔵書検索システムの利便性をさらに高めていく必要があります。

また、図書館資料の利用支援やインターネット上の情報を活用した利用者の情報収集等のため、館内のW i - F i *¹¹環境整備を行う必要があります。

*11 『W i - F i 』 スマートフォンやタブレットなどでインターネットにケーブルなしで接続する技術。

第4章 基本的な考え方

1 町立図書館の将来像

生涯学習における町民の読書・学習活動を支援するため、資料の収集と広報紙やインターネット等による情報提供を行い、町民が等しく自由に利用でき、町民や地域に役立つ、学びの拠点となる社会教育施設として、今後の図書館運営において、さらなる町民サービスや利用者の満足度の向上を目指し、将来像を次のように定めます。

『人と地域の学びを支える図書館』

2 基本目標

町立図書館の将来像を具現化する基本目標を以下の6つとします。

(1) 将来を見据えた資料の収集と保存を行う図書館

幅広いニーズに対応するとともに、将来にわたって利用できる資料の収集と保存を行う図書館を目指します。

(2) 環境を整備し進化する図書館

より高いレベルのサービスを提供するための環境整備を行い、効果的で効率的な運営を行う図書館を目指します。

(3) 誰もが利用しやすい図書館

あらゆる人が図書館に足を運びやすくするとともに、様々な理由や環境によって図書館利用が困難な人の学びを支援する図書館を目指します。

(4) 未来を担う子どもの読書を支援する図書館

次世代を生きる子どもが、個性を伸ばしながら健やかに育つために、子どもと本の出会いの場となる図書館を目指します。

(5) 人と人との出会いを広げる図書館

ボランティアや団体・サークルの活動を支援し、生涯学習の学びの場となる図書館を目指します。

(6) 町民の相互理解を支える図書館

外国語を母語とする人の利用の拡大や、個々の持つ文化をお互いに認め合う共生の場となる図書館を目指します。

第5章 施策の内容及び指標

施策の内容、主な取組は以下のとおりです。また、主な取組において、効果を測る指標を設定します。

基本目標（１）将来を見据えた資料の収集と保存を行う図書館

出版年の新旧に関わらず、利用者の求める資料が所蔵され、利用できる環境が整備されていることが重要であることから、資料は利用者のニーズや蔵書バランスを考慮して収集し、長い年月をかけて構成された蔵書を適切に保存し、後世に残すように努めます。

【主な取組】

■幅広い分野の資料収集

- 体系的な資料の収集を行う
- 県立・公立図書館等との相互貸借事業を推進する

■郷土資料の収集・提供

- 地域を知るための資料を継続して収集し提供する
- 郷土資料の保存と利用のためデジタル化の調査研究に取り組む

■電子書籍等の調査研究

- 電子書籍等の新しい形態での資料提供の調査研究に取り組む

指標名	他館からの相互貸借点数(単位:点)	
目標値算出根拠	平成27年度から令和元年度の平均相互貸借点数を目標値とする	
年 度	令和元年度(基準年度)	令和7年度(目標年度)
実績値・目標値	251	352

指標名	郷土資料蔵書点数(単位:点)	
目標値算出根拠	平成27年度から令和元年度の実績を基に、毎年度1%増を見込んで算出	
年 度	令和元年度(基準年度)	令和7年度(目標年度)
実績値・目標値	9,717	10,213

基本目標（２）環境を整備し進化する図書館

図書館活動の周知を図るために、わかりやすく親しみのあるホームページの作成や、様々な媒体による情報発信に努めるとともに、利用者の利便性の向上を図るために、時代に応じた図書館のサービス環境の整備に努めます。

【主な取組】

■インターネット等を利用した情報発信

- 図書館ホームページの充実を図り、町立図書館の事業や活動に関する情報を広く提供する
- SNS等を使い、新着本や話題の本等の情報を発信する
- 図書館管理システムの更新を行う

■快適に利用できる環境のための施設運営

- 本を借りたくなるような展示方法の工夫に取り組む
- 資質向上のための専門的な研修に職員が参加し、利用者の課題解決に役立つレファレンスサービスの充実を図る
- Wi-Fi環境の整備に取り組む
- 緊急時の体制づくりに取り組む
- 効果的で効率的な施設の管理運営方法の調査研究に取り組む

指標名	図書館ホームページアクセス件数(単位:件)	
目標値算出根拠	平成27年度から令和元年度の平均アクセス件数を目標値とする	
年 度	令和元年度(基準年度)	令和7年度(目標年度)
実績値・目標値	31,838	16,650

※令和元年度の実績値は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休館を行った影響等により、例年よりもアクセス件数が多かったため、令和7年度の目標値は、実績値と比較して、減少した数値となっています。

指標名	職員の研修会延べ参加者数(単位:人)	
目標値算出根拠	カウンター業務に携わる全職員が、年1回以上研修に参加することを目標とする	
年 度	令和元年度(基準年度)	令和7年度(目標年度)
実績値・目標値	8	17

指標名	レファレンス件数(単位:件)	
目標値算出根拠	平成27年度から令和元年度の平均レファレンス件数を目標値とする	
年 度	令和元年度(基準年度)	令和7年度(目標年度)
実績値・目標値	2,341	3,012

基本目標（３）誰もが利用しやすい図書館

誰でも自由に利用できるよう社会的障壁をなくす配慮をした取り組みを実施するとともに、安全で安心して利用できる図書館づくりに努めます。

【主な取組】

■ 社会的障壁をなくすためのサービスの実施

○ 高齢者等に読みやすい大活字本や、視覚障害者向けの点字資料等の収集・提供を行う

■ 図書館に来ることが困難な町民に向けたサービスの実施

○ 身体に障害があるなどの理由で町立図書館に来られない人に、図書資料を宅配するサービスの充実を図る

指標名	大活字本蔵書点数(単位:点)	
目標値算出根拠	平成27年度から令和元年度の平均蔵書増加率を基に算出	
年 度	令和元年度(基準年度)	令和7年度(目標年度)
実績値・目標値	1,372	1,442

指標名	宅配サービス貸出点数(点)	
目標値算出根拠	平成27年度から令和元年度の最大貸出点数を目標値とする	
年 度	令和元年度(基準年度)	令和7年度(目標年度)
実績値・目標値	145	204

基本目標（４）未来を担う子どもの読書を支援する図書館

子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、人生をより豊かに生きていく力を身につけていく上で、読書活動は欠かすことのできないものであり、そのきっかけの場として、子どもが利用したいと思うようなサービスの充実に努めます。

【主な取組】

■乳幼児とその保護者に向けたサービスの実施

- 乳児とその保護者を対象にしたブックスタート事業の充実を図る
- 絵本の紹介や読み聞かせの実演講座の充実を図る

■未就学児・小学生に向けたサービスの実施

- ボランティアによる読み聞かせやお楽しみ会等の充実を図る
- 絵本や子ども向け図書の充実を図る
- 小学校との連携を強化する

■中学生・高校生に向けたサービスの実施

- 学習活動を図書利用につなげる取り組みを行う
- ヤングアダルトコーナーの図書の充実を図る
- 中学校との連携を強化する
- 学習スペースの拡大を図る

指標名	読み聞かせ延べ参加者数(単位:人)	
目標値算出根拠	平成27年度から令和元年度の最大参加者数を目標値とする	
年 度	令和元年度(基準年度)	令和7年度(目標年度)
実績値・目標値	997	1,226

指標名	児童書貸出点数(単位:点)	
目標値算出根拠	平成27年度から令和元年度の最大貸出点数を目標値とする	
年 度	令和元年度(基準年度)	令和7年度(目標年度)
実績値・目標値	57,260	68,255

指標名	ヤングアダルト図書貸出点数(単位:点)	
目標値算出根拠	平成27年度から令和元年度の最大貸出点数を目標値とする	
年 度	令和元年度(基準年度)	令和7年度(目標年度)
実績値・目標値	8,038	11,314

基本目標（５）人と人との出会いを広げる図書館

ボランティア団体等と協力して読み聞かせ事業等を実施し、ボランティア団体等へ活動場所の提供を行うなど、利用者の生涯学習と交流の場となるよう努めるとともに、利用者の自主的・自発的な学習活動を支援する講座の開催に努めます。

また、社会科見学や職場体験等を受入れ、町立図書館を身近に感じてもらう利用の促進に努めます。

【主な取組】

■ ボランティア団体・サークルの育成・支援

○読み聞かせボランティアの活性化を図り、子ども向け事業において連携して事業を実施する

○ボランティア団体・サークルの活動を支援するとともに、新たなボランティア団体・サークルの育成を図る

■ 生涯学習講座の開催

○幅広いニーズに対応した文学活動実践講座や、成人学習事業等の充実を図る

■ 社会科見学や職場体験等の受入れ

○小学生の社会科見学や、中学生・高校生・大学生の職場体験等の受入れを行う

指標名	読み聞かせボランティア活動回数(単位:回)	
目標値算出根拠	平成27年度から令和元年度の最大活動回数を目標値とする	
年 度	令和元年度(基準年度)	令和7年度(目標年度)
実績値・目標値	86	95

指標名	生涯学習講座実施回数(単位:回)	
目標値算出根拠	平成27年度から令和元年度の最大実施回数を目標値とする	
年 度	令和元年度(基準年度)	令和7年度(目標年度)
実績値・目標値	10	14

指標名	社会科見学・職場体験等受入件数(単位:件)	
目標値算出根拠	平成27年度から令和元年度の最大受入件数を目標値とする	
年 度	令和元年度(基準年度)	令和7年度(目標年度)
実績値・目標値	8	10

基本目標（６）町民の相互理解を支える図書館

日本人と外国語を母語とする人たちとの相互理解に資する新たな事業展開や、多文化共生に関する資料の充実を図り、町民の相互理解を支える環境づくりに努めます。

【主な取組】

- 外国語を母語とする人たちに向けたサービスの実施
 - 洋書の収集を行う
 - 外国語を母語とする人たちの利用を増やす取り組みを行う
- 多文化理解のためのサービスの実施
 - 日本語や日本文化を学ぶための資料の充実を図る
 - 多文化相互理解の資料の充実を図る

指標名	洋書貸出点数(単位:点)	
目標値算出根拠	平成27年度から令和元年度の実績を基に、毎年度2%増を見込んで算出	
年 度	令和元年度(基準年度)	令和7年度(目標年度)
実績値・目標値	971	1,072

指標名	多文化相互理解に資する資料蔵書点数(単位:点)	
目標値算出根拠	平成27年度から令和元年度の実績を基に、毎年度20%増を見込んで算出	
年 度	令和元年度(基準年度)	令和7年度(目標年度)
実績値・目標値	26	65

第6章 ビジョンの推進

1 取組方針

各基本目標の実現に向けた施策の推進にあたっては、利用者アンケート調査の実施や町立図書館協議会からの意見聴取などにより、利用者のニーズに沿った図書館運営に努めていきます。

2 進捗管理と点検・評価

本ビジョンの進捗管理にあたっては、各年度ごとに実施状況の把握・点検を行い、評価にあたっては町立図書館協議会から意見聴取を行い、その評価結果を今後の実施や見直し等に反映させていきます。

参考資料

1 令和元年度貸出人数・貸出点数及び分類別貸出点数

対象別	貸出人数	貸出点数
幼児	1,998	12,238
児童(小学生)	4,920	29,929
生徒(中学生)	423	1,470
学生(高校生)	254	1,009
一般(19歳～59歳以下)	16,952	78,376
一般(60歳以上)	14,283	51,739
小 計	38,830	174,761
団 体	857	7,265
合 計	39,687	182,026
1日平均	151	692

(令和2年3月31日現在)

分類別	貸出点数
0 総 記	1,489
1 哲 学	3,944
2 歴 史	8,552
3 社会科学	8,325
4 自然科学	6,137
5 技 術	10,919
6 産 業	3,356
7 芸 術	7,239
8 言 語	1,210
9 文 学	34,218
K 郷土資料	634
J 児 童 書	57,260
YAヤングアダルト	8,038
Y 洋 書	971
Z 雑 誌	6,494
図 書 小 計	158,786
A 視聴覚資料	23,240
合 計	182,026

2 年度別・分類別蔵書点数

年 度	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会科学	4 自然科学	5 技術	6 産業	7 芸術	8 言語
平成元年度	1,822	1,822	3,580	5,984	2,590	2,766	1,311	3,632	909
平成2年度	1,960	2,122	4,220	7,161	3,094	3,324	1,624	4,311	1,081
平成3年度	2,249	2,445	5,248	9,043	3,816	4,312	1,939	5,194	1,364
平成4年度	2,464	2,621	5,864	10,209	4,243	4,722	2,093	5,678	1,530
平成5年度	2,522	2,499	5,891	10,855	4,449	4,777	2,109	5,820	1,590
平成6年度	2,713	2,590	6,203	11,428	4,725	5,053	2,225	6,114	1,654
平成7年度	2,892	2,702	6,474	11,957	4,967	5,267	2,292	6,276	1,692
平成8年度	3,112	2,826	6,867	12,558	5,303	5,720	2,440	6,477	1,771
平成9年度	3,234	2,940	7,303	12,634	5,546	5,931	2,540	6,713	1,753
平成10年度	3,266	3,172	7,900	13,684	6,075	6,492	2,731	7,187	1,844
平成11年度	3,044	3,152	7,595	13,395	5,976	6,111	2,610	7,464	1,757
平成12年度	3,294	3,355	8,065	14,197	6,308	6,846	2,783	7,829	1,884
平成13年度	3,501	3,507	8,411	15,097	6,678	7,316	2,918	8,082	1,954
平成14年度	3,549	3,522	8,435	15,001	6,539	7,828	2,892	8,258	2,028
平成15年度	3,227	3,418	7,881	14,961	6,549	7,959	2,942	8,019	1,901
平成16年度	3,379	3,552	8,228	15,336	6,700	8,060	3,042	8,312	1,972
平成17年度	3,137	3,504	8,411	15,179	6,747	7,771	2,974	8,510	1,985
平成18年度	3,273	3,621	8,669	15,216	6,917	7,550	3,001	8,545	2,011
平成19年度	3,423	3,724	8,227	15,218	6,897	7,679	2,908	8,644	1,974
平成20年度	3,426	3,566	8,335	15,352	7,094	7,662	3,044	8,792	1,957
平成21年度	3,440	3,674	8,715	15,554	7,104	7,692	3,098	8,788	1,926
平成22年度	3,327	3,679	8,652	15,521	7,118	7,429	3,058	8,835	1,868
平成23年度	3,094	3,702	8,743	15,524	7,377	7,322	3,036	8,714	1,915
平成24年度	3,108	3,732	8,717	15,447	7,220	7,121	3,120	8,654	1,923
平成25年度	3,051	3,707	8,879	15,646	7,411	7,237	3,068	8,640	1,933
平成26年度	3,131	3,637	9,009	15,805	7,141	7,471	2,995	8,293	1,906
平成27年度	3,136	3,468	9,144	15,245	6,571	6,683	2,847	8,445	1,895
平成28年度	3,142	3,115	8,420	13,984	6,574	6,595	2,694	8,275	1,846
平成29年度	3,182	3,209	8,598	14,233	6,829	6,458	2,614	8,234	1,829
平成30年度	3,030	2,899	8,039	13,485	6,430	6,510	2,621	8,185	1,763
令和元年度	3,066	3,004	8,051	13,403	6,371	6,651	2,652	8,004	1,828

9 文学	K 郷土資料	J 児童書	YA ヤング アダルト	Y 洋書	Z 雑誌	図書小計	A 視聴覚 資料	合計	年 度
14,362	5,055	14,931	0	0	0	58,764	0	58,764	平成元年度
16,324	5,428	16,763	0	0	0	67,412	751	68,163	平成2年度
18,060	5,811	18,789	0	0	0	78,270	1,142	79,412	平成3年度
19,690	6,174	20,381	0	322	0	85,991	1,483	87,474	平成4年度
19,307	6,700	19,621	0	322	0	86,462	1,902	88,364	平成5年度
20,494	6,658	20,902	0	323	0	91,082	2,365	93,447	平成6年度
21,854	6,976	22,300	0	323	0	95,972	2,824	98,796	平成7年度
22,958	7,394	22,816	0	326	0	100,568	3,142	103,710	平成8年度
23,437	7,500	22,664	0	312	0	102,507	3,444	105,951	平成9年度
24,980	7,706	24,771	0	314	0	110,122	3,792	113,914	平成10年度
25,435	7,645	25,938	0	307	0	110,429	3,989	114,418	平成11年度
26,582	7,843	27,412	2,145	1,384	0	119,927	4,549	124,476	平成12年度
28,049	8,049	28,773	2,614	2,820	2,191	129,960	4,954	134,914	平成13年度
29,242	8,182	30,819	3,507	2,936	2,790	135,528	5,339	140,867	平成14年度
29,604	8,353	29,097	3,944	2,969	2,800	133,624	5,814	139,438	平成15年度
30,235	8,490	30,884	4,062	2,978	2,711	137,941	6,155	144,096	平成16年度
30,556	8,167	31,258	4,272	3,074	2,630	138,175	6,052	144,227	平成17年度
30,437	8,283	31,601	4,335	3,091	2,758	139,308	6,489	145,797	平成18年度
30,350	8,391	31,956	4,355	3,092	2,549	139,387	6,725	146,112	平成19年度
30,248	8,534	32,431	4,334	3,114	2,320	140,209	6,921	147,130	平成20年度
30,593	8,745	33,417	4,442	3,284	2,642	143,114	6,560	149,674	平成21年度
30,009	8,909	33,038	4,134	3,121	2,454	141,152	6,057	147,209	平成22年度
29,494	9,072	32,528	3,997	3,163	2,150	139,831	5,799	145,630	平成23年度
29,573	9,076	33,257	4,078	3,181	1,767	139,974	5,631	145,605	平成24年度
28,456	9,255	32,942	4,084	3,145	1,494	138,948	5,914	144,862	平成25年度
29,214	9,411	34,366	4,121	3,148	1,527	141,175	6,233	147,408	平成26年度
29,685	9,598	34,500	3,857	3,160	1,617	139,851	6,542	146,393	平成27年度
28,500	9,727	33,274	3,962	3,161	1,497	134,766	6,662	141,428	平成28年度
29,471	9,848	33,188	3,756	3,167	1,469	136,085	6,754	142,839	平成29年度
28,684	10,054	32,681	3,587	3,180	1,448	132,596	6,910	139,506	平成30年度
28,563	9,717	33,256	3,693	2,964	1,480	132,703	6,984	139,687	令和元年度

3 年度別入館者数等

年 度	開館日数	入館者数	一日平均 入館者数	貸出人数	一日平均 貸出人数	貸出点数	一日平均 貸出点数	蔵書点数
平成元年度	255	—	—	36,792	144	78,624	308.3	58,764
平成2年度	277	—	—	41,650	150	134,333	485.0	68,163
平成3年度	280	—	—	42,251	151	140,956	503.4	79,412
平成4年度	273	—	—	45,418	166	143,757	526.6	87,474
平成5年度	275	103,930	378	46,753	170	146,147	531.4	88,364
平成6年度	271	106,369	393	46,051	170	145,097	535.4	93,447
平成7年度	273	110,785	406	46,630	171	140,001	512.8	98,796
平成8年度	271	100,369	370	39,390	145	128,407	473.8	103,710
平成9年度	268	93,481	349	41,502	155	123,933	462.4	105,951
平成10年度	281	107,154	381	52,386	186	150,813	536.7	113,914
平成11年度	276	140,428	509	56,551	205	185,068	670.5	114,418
平成12年度	284	162,597	573	55,304	195	220,454	776.2	124,476
平成13年度	284	184,878	651	59,491	209	237,954	837.9	134,914
平成14年度	281	204,033	726	64,237	229	272,559	970.0	140,867
平成15年度	282	205,525	729	67,872	241	300,048	1,064.0	139,438
平成16年度	278	196,582	707	67,677	243	298,818	1,074.9	144,096
平成17年度	281	215,411	767	69,096	246	292,083	1,039.4	144,227
平成18年度	284	210,653	742	67,904	239	285,774	1,006.2	145,797
平成19年度	282	201,788	716	63,351	225	271,785	963.8	146,112
平成20年度	287	198,630	692	66,401	231	281,518	980.9	147,130
平成21年度	284	203,814	718	64,428	227	275,660	970.6	149,674
平成22年度	288	201,249	699	61,595	214	267,452	928.7	147,209
平成23年度	286	175,857	615	59,559	208	259,302	906.7	145,630
平成24年度	284	166,018	585	55,533	196	243,088	855.9	145,605
平成25年度	283	137,034	484	53,657	190	231,540	818.2	144,862
平成26年度	283	147,952	523	49,937	176	214,615	758.4	147,408
平成27年度	283	146,286	517	50,290	178	216,472	764.9	146,393
平成28年度	283	138,630	490	46,146	163	209,849	741.5	141,428
平成29年度	284	133,381	470	43,641	154	201,596	709.8	142,839
平成30年度	284	130,617	460	42,858	151	197,804	696.5	139,506
令和元年度	263	123,730	470	39,687	151	182,026	692.1	139,687

※入館者数は、機器を導入し平成5年から集計できるようになったため、平成5年度より記載しています。

※令和元年度は、新型コロナウイルス感染症感染防止のため、20日間休館しました。

大泉町立図書館

電話:0276-63-6399

ファックス:0276-63-0717

Eメール: oizumi-l@sunfield.ne.jp

ホームページ: <http://www.library.oizumi.gunma.jp/>